



平成 20 年 7 月 16 日

各 位

東京都墨田区吾妻橋三丁目3番2号
株式会社ペッパーフードサービス
代表取締役社長 一瀬 邦夫
(コード番号: 3053)

問い合わせ先 取締役 青木 一夫
経営企画室長
電話番号 03 (3829) 3210

中間期ならびに通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 20 年 2 月 15 日付「平成 19 年 12 月期 決算短信 (非連結)」にて公表した平成 20 年 12 月期 (平成 20 年 1 月 1 日 ~ 平成 20 年 12 月 31 日) の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 12 月期中間期業績予想数値の修正 (平成 20 年 1 月 1 日 ~ 平成 20 年 6 月 30 日)

(金額単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	3,400	32	24	△21
今回修正予想 (B)	3,521	△105	△128	△441
増減額 (B-A)	121	△137	△152	△420
増減率 (%)	3.6	—	—	—
(ご参考) 前中間期実績 (平成 19 年 12 月期)	3,605	△1	△1	△108

2. 平成 20 年 12 月通期業績予想数値の修正 (平成 20 年 1 月 1 日 ~ 平成 20 年 12 月 31 日)

(金額単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	7,300	118	102	17
今回修正予想 (B)	7,147	5	△36	△382
増減額 (B-A)	△153	△113	△138	△399
増減率 (%)	△2.1	△95.8	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 19 年 12 月期)	7,387	8	0.3	△381

3. 業績予想の修正の理由

(1) 中間期業績予想

① 売上高、営業利益ならびに経常利益

当中間期の売上高につきましては、「ペッパーランチ」における全国規模での販売促進活動や、「ステーキくに」の一部店舗で実施した主力メニューの半額セールなどが寄与した結果、当初計画値を上回る3,521百万円（公表数値3,400百万円）となる見込みになりました。

しかしながら、営業利益、経常利益につきましては、食材等の高騰やガソリン高による物流コストの増大に伴い売上原価率が当初計画値に対し上昇する見込みとなったことに加え、人件費などの販売費及び一般管理費も増加するなどの理由により、営業利益は△105百万円（公表数値32百万円）経常利益は△128百万円（公表数値24百万円）となる見込みになりました。

② 当期純利益

当中間期の当期純利益につきましては、収益性の改善が見込めない営業店舗に対して固定資産の減損に係る会計基準を適用したこと、ならびに前期より本格化致しました不採算店舗の整理を更に進めたことにより、固定資産の除却損・減損損失の計上額（254百万円）が、当初計画を上回る見通しとなり、当期純利益は△441百万円（公表数値△21百万円）となる見込みになりました。

(2) 通期業績予想

下半期の業績につきましては、当中間期において実施した不採算店舗の整理により収益の底上げが見込まれること及び、物流システムの見直しにより物流コストの低減が図れること等から、収益の回復を見込んでおります。その結果、通期の業績につきましては、営業利益は5百万円（公表数値118百万円）、経常利益は△36百万円（公表数値102百万円）、当期純利益△382百万円（公表数値17百万円）となる見通しです。

また、売上高につきましては、不採算店舗の整理を進めた結果一時的に減少しますが、既存店繁盛化策等の様々なプロジェクトに取り組むことにより更なる拡大を図ってまいります。

(注) 上記に記載しております業績予想に関しましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社にて判断したものであり、リスクや不確定要素が含まれており、実際の成果や業績等は記載の予測と異なる可能性があります。

以 上